



碧南ロータリークラブ週報

第3029回例会 令和4年9月28日(水)

- 会長 長田 和徳
- 幹事 清澤 聡之
- 会場監督(SAA) 樺山 朋久

2022-2023 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 鈴木 洋・長田一希・杉浦保子

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

碧南市消防団 団長 杉浦清貴様、副団長 岡島晋一様

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。

早いもので私が会長になって 3 ヶ月が経とうとしております。

昨日、安倍元総理の国葬が執り行われました。ニュースによりますと、国葬に参列した方は約 4 千人、献花に訪れた方は 2 万



長田和徳会長

人を超えたそうです。色々この件について異を唱える方も見えますが、8 年間にわたる総理を経験された中で、外国との日本の立ち位置をしっかりと定められて、経済政策もきっちり進められた方なので、立派な葬儀をされても問題はないかと思われませんが、最近のマスクミの対応には嫌悪感ばかりが残ると思っております。参列された方の中で、インドのモディ首相が来日されたのですが、どうしても参列したいということで、朝の飛行機で来て、葬儀が終わったらそのまま帰られたそうです。それだけ日本との関係を大事にされていたのかなあと感じました。

奇しくも、63 年前の 9 月 27 日は碧南 RC の認証状伝達式が行われた日であります。前日に伊勢湾台風襲来がありまして、壊滅的な被害を受けた中、産声を上げ、奉仕活動に邁進するという遺伝子がそこから生まれ、我がクラブの伝統となった日でもあります。

こここのところ、大きな台風が毎週のように来ております。幸い、碧南はあまり被害に遭っていませんが、西尾の一部は浸水、浜松の方は未だに水が出ないという状況です。8 月と 9 月は台風が多く発生しまして、8 月の台風はどこに行くかわからないことが多いんですが、9 月の

この時期の台風は日本に上陸しやすいです。その理由の1つは台風が変わる熱帯低気圧が発生しやすいことです。台風の多くは赤道付近の熱帯地域で発生します。熱帯地域では海面の水温が高いため、上昇気流が発生しやすくなります。上昇気流によって発生した多数の積乱雲が渦上に形成され、中心部の気圧が下がり、熱帯低気圧に変わります。海面からの水蒸気をエネルギー源として勢力を増していき、台風になります。つまり、発生した熱帯低気圧が気象状況により台風に変わることが多いのです。9月になると太平洋高気圧の勢力が弱まることも台風が上陸しやすい理由の1つです。

夏に発生する台風と秋に発生する台風では、特徴や性質が異なります。夏の台風は勢力を強めている太平洋高気圧や発生した他の台風の影響、偏西風などの影響を受けやすいという特徴があります。その為、北上する速度が遅かったり、突如、方向が変わり南下したりと、進路が不安定という性質を持っています。

一方、秋の台風は動くスピードが速いのが特徴です。秋になると偏西風が南下することで、台風のスPEEDが速まり、強い風を発生させます。また、夏の間を上昇した海水の温度が高いまをキープし、台風の勢力を強めやすいという性質もあります。

それでは、1つだけ今日報告することがあります。お手元の資料の中に緑色の紙があると思いますが、メイクアップに関する資料を配布させていただきました。10月より例会のYouTube視聴後にコメントを書いていただくことで出席扱いにさせていただきます。YouTubeを見ることができないという方は、週報を読んでいただいて、コメントを書いていただくことで出席扱いにさせていただきますので、よろしくお願い致します。

本日もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告を申し上げます。

- ・ 2021-22 年度ガバナー事務所より、ガバナー月信最終号が届いております。
- ・ 碧南 RC 例会規定によりまして、5月1日～10月31日までクールビズを適用するとなっておりますので、10月いっぱいまではクールビズで結構でございます。



清澤聡之幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 9 名) 出席者 42 名	
出席対象者 42 / 54 名	出席率 77.78%
欠席者 18 名 (病欠者 1 名)	

<ニコボックス>

- 長田 和徳君 9月ゴルフ部会では、木村さん、角谷さん、杉浦さんには大変お世話になりました。
- 26日月曜日には、平岩さんに大変お世話になりました。
- 杉浦 邦彦君 9月15日(木)に開催されましたRCゴルフコンペで優勝させていただきました。同伴者の耕也さん、鋼勇君、晋次君、お世話になりました。いただきましたギフト券は妻と娘で有効に使わせていただきました。ありがとうございました。
- 長田 康弘君 本日の卓話講師、碧南市消防団長 杉浦清貴さんを紹介させていただきます。
- 牧野 勝俊君 過日のロータリーゴルフコンペにて、木村徳雄様、長田和徳様、角谷信二様には大変お世話になり、感謝申し上げます。

卓 話

「消防団のあゆみ ～纏にまつわるエトセトラ～」

碧南市消防団 団長 杉浦清貴様



杉浦清貴様

皆様、改めまして、こんにちは。

先程ご紹介があった通り、昨年度より碧南市消防団の団長を務めております杉浦清貴と申します。本日はどうぞよろしくお願い致します。また、平素は消防団に対しまして、ロータリークラブの皆様方や関係者の方から団員を輩出させていただいております、本当にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。それでは、本日このような機会をいただきましたので、お話をさせていただければと思います。

「消防団のあゆみ ～纏にまつわるエトセトラ～」ということで、皆様も既にご存知かと思うんですが、今年の3月に全国に2,200余りある消防団の中で、毎年10ヶ所の市町村のみが選ばれる消防団にとって最高の荣誉とされる表彰である「まとい」を碧南市消防団が受けました。それに伴いまして、今回色んなことをまとめてみましたので、それについてお話をしていきたいと思います。

まずは消防組織の誕生についてお話をしていきたいと思います。最初に江戸の町にスーパーヒーローが現るということで、浅野内匠頭長直は初代播磨赤穂藩主で、後に吉良上野介を斬っちゃった浅野内匠頭長矩の祖父でございます。浅野内匠頭長直は本気で火消しに取り組んだ火消しのプロフェッショナルということで、色んな文献に当時の様子が残されております。江戸の初期～中期はまだ町火消もなく、ようやく定火消(旗本火消)制度が立ち上がろうという時代で、町民も不安な状態の中、この方は日頃から常に消防訓練を欠かさないので、いい加減に訓練している家臣を処罰するぐらい非常に厳しい方だったという記録が残っております。とても熱心に江戸消防に従事されていた方でございます。実際の火事の時の行動力が非常に素晴らしい方で、自ら率先して現場に飛び込んで行って破壊消火をしていたということで、江戸のスーパーヒーローでございました。これが1668年頃の出来事となり

ます。

その後消防団の前身と言われている町火消が誕生します。徳川 8 代将軍の徳川吉宗が大岡越前守忠相に防火対策の強化を命じてできたのが、江戸の町火消と言われております。町火消は主に鳶職を中心に形成されておりました。破壊消火が主流だった為、消火道具も鳶口や掛矢、鋸が主力でございました。

この町火消を基として、1870 年に東京府に消防局が設置されると共に町火消が廃止され、消防組が新設されました。火消しの方たちは消防夫として半官半民の身分で採用されました。

1875 年に警視庁に常設の消防隊ができると、消防組は消防隊と共に東京府内の消防業務を担うようになりました。但し、三百諸藩の統治の名残を残す地方では、地方独特の消防制度が形成され、消防組はあくまで東京府内の機構に留まっておりました。

1894 年に消防組規則が交付され、消防組が全国で設置され、府県知事に管理が任されることとなりました。

1939 年に消防組と防護団を合体させ、警防団が発足しましたが、1947 年に警防団が廃止され、消防団令の発布に伴い、全国の市町村に消防団が組織されることとなりました。

それから一気に時が流れまして、2017 年に東京ドームで消防団 120 年・自治体消防 65 周年の記念式典が開催されました。式典には安倍総理大臣・天皇皇后両陛下もお越しになり、手押しポンプで放水する実演などが行われました。他にも AKB48 が来て、式典に花を添えました。左側の写真の手押しポンプは碧南消防署にも展示しております。行く機会がございましたら、ご覧いただければと思います。当時の放水のポンプですが、今の消防車のような威力は全くなく、どちらかと言うと、屋根の上で破壊消火を行っている方や纏を持っている方を火の粉から守るのが役目でした。

消火活動において消火の目印になるのが纏でございました。大岡越前守忠相が町火消にも纏を持たせ、士気の高揚を図ったという記録が残っております。この当時の纏は纏幟と呼ばれた幟形式のもので、火災出場区域や火災現場心得などが書かれており、いろは 48 本に本所・深川の 16 本を合わせて 64 本あったという記録が残っております。組のうちで体力や威勢に優れた者が「纏持ち」に任命され、現場で纏持ちは火事場の風下の屋根の上にあがり、纏を振りたてて消火活動の目印とすると共に仲間たちの士気を鼓舞したと言われております。纏持ちの上がった家が焼ければ、纏も纏持ちと一緒に燃えてしまう為、「纏を焼くな」とばかりに各自が必死に働いたという記録が残っております。

ここからは碧南市消防団の歴史を振り返ってみたいと思います。

- ・1918 年 4 月 1 日 消防組発足
- ・1954 年 4 月 1 日 碧南市消防団発足
- ・1959 年 2 月 13 日 日本消防協会表彰旗受章
- ・1959 年 12 月 9 日 国務大臣より伊勢湾台風の災害復旧の功績に対して感謝状を授与
- ・1971 年 3 月 4 日 消防庁長官表彰旗受章
- ・1993 年 4 月 1 日 消防団員全員に甲種制服貸与開始
- ・1995 年 4 月 1 日 鈴木並生さんが第 22 期碧南市消防団団長に就任
- ・2002 年 7 月 13 日 愛知県消防操法大会 ポンプ車の部で優勝（角谷信二 第一分団長）

- ・2009年4月1日 角谷信二さんが第29期碧南市消防団団長に就任
- ・2013年4月1日 杉浦栄次さんが第31期碧南市消防団団長に就任
- ・2015年4月1日 長田康弘さんが第32期碧南市消防団団長に就任
- ・2018年7月28日 愛知県消防操法大会 小型ポンプの部で優勝
- ・2018年10月19日 全国消防操法大会に出場
- ・2019年7月20日 愛知県消防操法大会 ポンプ車の部で優勝
- ・2022年3月4日 特別表彰「まとい」受章

2018年に小型ポンプの部で優勝し、2019年にポンプ車の部で優勝したということで、部門を変えての連覇はなかなか珍しいことのように、それが「まとい」受章の最終的な理由ではないかと思っております。

近年はコロナ禍でなかなか思うような訓練等ができなくて、団員の皆さんも苦い思いをしているんですけれども、最近行っている訓練の一例をご紹介しますと思います。こちらの写真は消防署の壁に火災の映像を映しているんですけれども、そこに目掛けて放水している訓練でございます。実際に消防署の職員の方に具体的な指導を受けながらの訓練を行っております。また、今年からの試みなんですけど、YouTubeで訓練や行事の様子を配信しております。碧南市のホームページから直接飛ぶことができます。内容は1分程度に編集しておりますので、是非ご覧いただければと思います。

今後とも碧南市消防団に皆様のご理解とご協力を賜れば幸いです。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和4年10月12日（水）定款第7条第1節（d）（1）による休会

令和4年10月19日（水）

クラブフォーラム「米山記念奨学事業について」

地区米山記念奨学委員会 委員 手島嘉宏氏